

天満橋 天神橋 難波橋

〔攝津名所圖會四上〕大江橋〔中略近江川の下流〔中略〕今川幅狭く成ッて三橋を架す、一ニ天満橋〔中略〕二ニ天神橋〔中略〕三ニ難波橋〔中略〕是を浪花三大橋といふ、

〔書言字考節用集十量〕東武三大橋〔兩國、六郷、千住、

〔江戸鹿子五〕三大橋 兩國橋、武藏下總堺に、かけたる橋なり、千手橋、淺草川上に渡、六郷橋、川

崎村、

〔傍廂後編〕四。大橋。

江戸の四大橋は、もと三大橋といひて、兩國橋、大橋、永代橋の三なりしを、安永三年に淺草の大川橋出來しより、四大橋となれり、

〔三橋小破修復并十組引請相止候書留〕文政二卯年、十組引受三橋相止書付、

本所見廻江

永代橋、新大橋、大川橋共、菱垣廻船積仲ケ間十組問屋共引受罷在候處以來引受并三橋會所共相止○中、其外之儀者は、是迄之通相心得可被申候、

卯六月

〔和漢名數地理〕東。路。大橋。

勢多江州 矢矧三州 吉田同上 六郷武州

〔丙辰紀行〕吉田

江戸より京までの間に、大橋四あり、武藏の六郷、三河の吉田、矢矧、近江の勢多なり、○又見驛路の鈴、東海道名所記、

〔書言字考節用集十量〕鎌倉十橋〔琵琶、筋違、歌橋、勝橋、裁許、針摺、夷堂、逆川、亂橋、十王堂、

〔新編鎌倉志〕筋替橋〔附中略鎌倉十橋